# 遺失物管理プログラム入力要領

#### 1 共通情報画面

項目	内 容	
拾得物保管の有無	「有」: 特例施設占有者で拾得物件を施設で保管する場合に選択する。 「無」: その他の場合に選択する。	
拾得場所市区町村 (コード)	総務省で定めた地方公共団体コードの団体コードと同一である。 以下の表から該当する拾得場所市区町村コードを入力する。	

コード 市区町村名 神戸市東灘区 281018281026神戸市灘区 281051 神戸市兵庫区 281069 神戸市長田区 神戸市須磨区 281077 神戸市垂水区 281085 神戸市北区 281093 神戸市中央区 281107 神戸市西区 281115 282014 姫路市 282022 尼崎市 282031 明石市 282049 西宮市 282057 洲本市 282065 芦屋市 282073 伊丹市 282081 相生市 豊岡市 282090 加古川市 282103 282120 赤穂市 282138 西脇市 宝塚市 282146 三木市 282154 282162 高砂市 282171 川西市

コード	市区町村名
282189	小野市
282197	三田市
282201	加西市
282219	丹波篠山市
282227	養父市
282235	丹波市
282243	南あわじ市
282251	朝来市
282260	淡路市
282278	宍粟市
282286	加東市
282294	たつの市
283011	猪名川町
283657	多可町
283819	稲美町
283827	播磨町
284424	市川町
284432	福崎町
284467	神河町
284645	太子町
284815	上郡町
285013	佐用町
285854	香美町
285862	新温泉町

自動整理番号付与	物件登録画面において整理番号の自動採番を行うか選択する。
	「有」:整理番号を自動採番する。
	「無」:整理番号を手入力により行う。

## 2 物件登録画面

	内 容
警察署提出物件 特例施設占有者保管物件	画面表示上の一番上に、選択する項目がある。 「警察署提出物件」: 拾得物件を警察署に提出する場合に選択する。 「特例施設占有者保管物件」: 特例施設占有者で拾得物件を施設で保管する 場合に選択する。
拾得者情報	「施設占有者」:従業員等が拾得した場合に選択する。 「一般拾得者(施設占有者以外)」:従業員以外(客等)が拾得した場合に 選択する。
物件情報	「裸現金(現金のみ拾得の場合)」: 現金のみ拾得の場合に選択する。 「それ以外(現金以外の拾得あり)」: 現金以外拾得の場合に選択する。
カナ記名	<ul> <li>物件に記載又は記録されている氏名・名称のうち、ひらがな、カタカナのものをカタカナにより、ローマ字表記のものをカタカナ又は英字により入力する。</li> <li>姓と名の間は1文字空けて、32文字以内で入力する。</li> <li>《入力例》         <ol> <li>にっぽんたろう → ニッポン タロウ</li> <li>NIPPON TAKERU → ニッポン タワル</li> <li>TAKERU NIPPON → ニッポン タワル</li> <li>TAKO NIPPON → TARO (姓と名が逆の表記の場合)</li> <li>NIPPON TARO → NIPPON (姓と名が逆の表記の場合)</li> <li>ウレジットカード等で、②、③のように読みが明らかなときは、読みを入力した方が「遺失者カナ氏名」との照合が可能となる。</li> <li>⑤のような表記では、「TARO」が、「タロ」か「タロウ」かの区別がつかないので(「SATO」は「サト」か「サトウ」なども同様)、そのまま英字により入力した場合、遺失届の方でもローマ字表記を「カナ記名」に英字により入力する運用が必要となる。</li> <li>なお、クレジットカードの裏面等の署名欄に漢字氏名が記入してあって、すべて入力可能な文字である場合は、それを「漢字記名」に入力する。</li> </ol> </li> </ul>

外国語表記のもののうち、英字により入力できるものを英字により入力する。

入力できないもので、読みが判明するものは、読みをカタカナにより入力 する。

### 漢字記名

物件に記載又は記録されている氏名・名称のうち、漢字(漢字とひらがな、 カタカナ及びアルファベットが混在する場合を含む。)表記のものを入力する。 姓と名の間は1文字空けて、16文字以内で入力する。

《入力例》

- ① 日本太郎 → 日本 太郎
- ② 日本たろう → 日本 たろう

使用できる漢字は、JIS 第1水準及び第2水準であるので、入力できない 漢字を含むもので、読みが判明するものは、読みを「カナ記名」欄に入力す る。

入力できない漢字(外字など)で、新字体などに置き換え可能な入力文字 がある場合は、それに置き換える。

《入力例》

- ① 髙橋太郎 → 髙橋 太郎
- ② 徳田たろう → 徳田 たろう

### 固有番号

物件に記載又は記録されている物件を特定することができる番号を、数字、 カナ及び英字により入力する。

電話番号の場合は、数字のみを入力する。

《入力例》

- ① 0123456789 (固定電話等)
- ② 09012345678 (携帯電話等)

製造番号等(同一のものが多数存在する、いわゆる「型式」は除く。)の場合は、- (ハイフン)、空白、()(かっこ)、番号を表す「No.」等の表示を除いて入力する。

《入力例》

- ① No. JSG-123456  $\rightarrow$  JSG123456
- ② (JSG)  $-123456 \rightarrow JSG123456$

ナンバープレートの場合は、表示の上段左から入力する。

《入力例》登録車両番号

- ① 神戸500さ1234 → コウベ500サ1234
- ② 神戸500さ・・12 → コウベ500サ..12 ※ 「・」は「.」とする。

《入力例》原動機付自転車

① 杉並区い1234 → スギナミクイ1234

	② 青葉区え1234仙台市 → アオバクエ1234センダイシ ③ 道後・松山市A1234 → ドウゴマツヤマシA1234 ※ 行政区中の「・」は除く。
	自転車防犯登録番号の場合は、番号のみを入力する。 《入力例》 ① 警視庁町田E-12345 → E12345 ② 相模原南50 0123456 ③ 01234567 → 01234567
代表物件	在中品のある物件の場合は、原則として、一番外側の物品(他の物件をその中に包含している物品)を代表物品とし、在中品をその他の物品とする。物品名を登録する際、「遺失物管理プログラム 物品コード入力 逆引き早見表(50音順)」を参考にしてください。
点数	点数を2桁以内で入力する。 ※ 3桁になる場合は、分割して登録する。 《入力例》 100点ある場合は、99点と1点に分割して登録する。
色	「黒色」、「白色」、「赤色」、「紫色」、「青色」、「黄色」、「茶色」、「緑色」、「金色」、「銀色」、「水色」、「ピンク色」、「オレンジ色」、「紺色」、「ベージュ色」、「えんじ色」、「黄緑色」の中から選ぶ。該当のない場合は、特徴欄に記載する。 《入力例》 正 深緑色 誤 深緑 ※ 必ず「色」まで入力する。
特徴	各特徴の区切りは、「、」又は空白とする。
その他の物	品 在中品をその他の物品とする。 入力要領は代表物品と同様。 ※ 「その他の物品」欄は、入力項目数が10件のため、10件以上になる場合は、10番目に「大分類:その他」、「中分類:その他」、「種類:その他」を選択し、物品点数をまとめて入力する。